

# 看護管理学

必 修

開講年次：4 年次前期

科目区分：演 習

单 位：1 单位

講義時間：30 時間

■科目のねらい：看護援助の提供に関わる管理システムについて、基本的な理論や考え方を学習し、看護組織を運営していくために必要な組織論・リーダーシップ論・管理理論などの理論の基礎を理解する。また、より良い看護を提供するための管理方法と今日的課題について学ぶ。

■到達目標：①看護管理の目的を理解し、チーム連携のリーダーとしての役割を担う基礎的概念を学ぶ。

- ②看護専門職の機能や役割を發揮させるための看護管理者の役割について説明できる。
- ③看護活動そのものが専門職者としての自己成長に深く関わるものであることが説明できる。
- ④施設受療から在宅までの継続的看護のあり方について説明できる。

■担当教員：【◎は科目責任者】

◎猪股 千代子・矢野 祐美子

■授業計画・内容：

- 第 1 回 看護管理の目的とプロセス ①看護管理の歴史的変遷と看護管理の目的②情報マネジメント  
第 2 回 看護サービス提供論 ①サービスとは②サービスの質③サービス提供体制  
第 3 回 看護組織論 ①組織デザイン②組織構造（理念と組織図）③組織分析（SWOT）  
第 4 回 看護の継続 ①チーム医療（他職種との連携）②連携（前方・後方連携）③連携するツール  
第 5 回 演習 グループワーク1 ヘルスケア提供の組織をつくる：テーマと内容  
第 6 回 演習 グループワーク2 組織を取り巻く外部環境と内部の環境（強み・弱み）の分析  
第 7 回 人的資源活用論I ①モチベーション②ストレスマネジメント③労務管理  
第 8 回 人的資源活用論II ①人材育成（インフロー・内部フロー・アウトフロー）②目標管理  
第 9 回 リーダーシップ論 ①リーダーシップとメンバーシップ②マネジメントとの違い③チーム  
第10回 看護管理の実際 ①トップマネジャー（看護部長）の役割  
第11回 演習 グループワーク3 理念・目的・チームビルディング  
第12回 演習 グループワーク4 目標・計画・問題解決／意思決定方法・リーダーシップ  
第13回 演習 グループワーク5 評価方法 プレゼン発表準備  
第14回 演習 プレゼンテーション1  
第15回 演習 プレゼンテーション2

■教科書：看護の統合と実践（1）看護管理（系統看護学講座 統合分野） 2013年 医学書院

■参考文献：講義の中で適宜紹介する。

■成績評価基準と方法：

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
定期試験	◎	◎	◎	◎		60%
グループワーク	○	○		○	積極的な取組み姿勢	30%
課題提出		○	○			10%
出席状況					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：医療経営学 看護理論 チーム医療論 医療安全管理論 感染管理論

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：大学卒業後は、組織の一員として役割期待に応える存在となる。自分の存在を大切にし、組織に貢献できるよう基礎的知識を身につけ、自信を持って課題に対処できる力をつけて欲しい。